

公益財団法人日本郵趣協会

2013年度事業報告書(2013年4月1日～2014年3月31日)

【事業活動の総括】

2013年度は協会が公益財団法人化して最初の2年が過ぎ、運営に携わる理事の任期満了を迎えたので、理事をはじめ各地方本部役員、委員会委員、運営協議会委員などの改選を行い、体制をさらに強固なものにして、「郵趣」をさらに広く社会一般に浸透させ、心豊かな潤いのある社会創造に貢献するため、さまざまな事業に取り組んだ。また理事会では、日本郵便創業150周年、任意団体発足から75周年を迎える2021年を見据えて、事業の発展的な見直し、後継者育成を含めた中・長期的計画の策定に取り組んで行くことを確認した。

協会事業の根幹である月刊誌『郵趣』は順調に刊行を重ねた。春の〈スタンプショウ2013〉では、多くの人たちに切手を楽しんでもらう目的から、「切手で見ると世界遺産～日本の世界遺産20年～」 「世界のおもしろ切手大集合！」を企画展示、一方、秋の全国切手展〈JAPEX2013〉では、多くの郵趣家からフィラテリーの成果を発表してもらうため、11クラスの競争作品を公募するとともに、「田沢型切手発行100周年記念 大正切手展」「大統領シリーズ発行75周年記念 アメリカ切手展」を企画展示した。今後とも、これら二つの展覧会の開催目的をはっきりと区別し、それぞれに応じた出品を呼びかけたい。

また第31回を数えた全国郵趣大会は大阪に110人以上が集い、講演や顕彰を通じて郵趣活動の結びつきを強めたが、次回以降、さらに内容の充実を図る考えである。出版事業では、『日専』のデータをもとに“見るよこび、知る楽しさ”を全面に打ち出した『ビジュアル日本切手カタログ』シリーズの第2弾「ふるさと・公園・沖縄切手編」を刊行、第3弾「年賀・グリーティング編」の準備に着手した。またこの年は、日本郵趣協会の創始者・水原明窗の没後20年に当たり、『旧中国切手カタログ』を刊行した。

こうした事業は順調に進んだが、世間一般の郵便切手への関心が薄くなり、収集家の高齢化、会員数の減少が進むなど、郵趣界と協会を取り巻く状況はますます厳しさを加えている。そのため日本郵政グループをはじめ、「郵趣」に理解のある企業・団体などをパートナーに連携を深め、社会一般に貢献する事業を展開して「郵趣」の普及・振興を図ることに力を注ぎ、夏休みの「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2013」、〈スタンプショウ〉での「体験ワークショップ」、年間を通じての「切手オリエンテーション」などを成功させることができた。東京周辺だけではなく、この成果を広く全国に及ぼすことがこれからの課題になろう。

協会財政が厳しさを増している中で、〈JPSオークション〉は予定通り年6回開催、出品総数8,124ロット、落札総高：7,974.8万円となり、目標7,800万円に対して達成率は102.2%となった。また〈スタンプショウ〉に15企業・団体、〈JAPEX〉に8企業・団体、「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト」に8企業・団体、「手紙を書こう！プロジェクト2013」に8企業・団体から協賛及び協力の支援が得られた。〈スタンプショウ2013〉寄附金は協賛者数281件320口151.4万円、〈JAPEX2013〉寄附金は協賛者数644件728口385.3万円となり、いずれも厳しい協会財政を潤すことができた。

私たちは郵便切手文化を推進する唯一の公益法人である責任の重さを自覚して、2013年度事業総括を踏まえて、今後の事業展開に取り組んで行く決意である。

I 公益目的事業

1. 普及啓発事業

万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する意匠、歴史、データ並びに郵便制度の研究に関して質の良い情報を広く社会一般に積極的に提供し、郵趣に関する歴史を未来に継承するため普及啓発を図った。

(1) 「全国ミニ切手展」キャンペーン

4月の「切手趣味週間」に合わせて、全国の郵便局、学校、博物館など公共施設を中心として、日本及び世界各国の郵便切手類を展示する「全国ミニ切手展」を852カ所で開催した。実施テーマにあたっては、地域特性を生かした内容、タイムリーで話題性の高い内容等を選定し、郵便切手文化の普及啓発に努めた。

(2) 体験ワークショップ及び自由研究コンテスト

郵便切手類の歴史や文化を身近に感じ親しんでもらうため、小学生を対象にした体験ワークショップ「手紙を書いてみよう!」「切手はり絵」などを実施した。また、郵便に必要な切手、消印を題材にして、文化・歴史・自然等について知識・研究を深める自由研究の発表会「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2013」を実施した。

①体験ワークショップ

ア. 会期：4月27日(土)～4月29日(祝・月)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、内容：「手紙を書いてみよう!」「切手はり絵」「ゆうびんde自由研究作品コンテスト作品作り」、参加者数：延べ78名。

イ. 会期：8月21日(水)～8月25日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、内容：「手紙を書いてみよう!」、参加者数：延べ187名。

②「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2013」

会期：8月21日(水)～8月25日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)、後援：豊島区教育委員会、(公財)通信文化協会、読売KODOMO新聞、協賛：日本郵便(株)、リソー教育グループ、ポスタルスクウェア(株)、(株)不二家、(株)ジャパンビバレッジ東京。

応募数：切手部門：41作品(前年度38作品)、風景印部門：81作品(同36作品)。表彰式は、8月25日(日)に切手の博物館(豊島区)において実施するとともに、優れた作品にグランプリ及び特別賞(6協賛企業・団体)を授与した。

(3) 切手オリエンテーション

郵便切手文化を普及するため、誰でもが参加・交流できる「切手オリエンテーション」を開催した。実施テーマにあたっては、初心者の人でもわかりやすく、親しみのもてる内容等を選定し、文化活動の普及啓発に努めた。

①初級編

ア. 会期：5月11日(土)[第31回]、参加者数：4名。

イ. 会期：6月8日(土)[第32回]、参加者数：6名。

ウ. 会期：7月20日(土)[第33回]、参加者数：5名。

エ. 会期：2014年2月8日(土)[第38回]、降雪により中止。

オ. 会期：2014年3月8日(土)[第39回]、参加者数：6名、会場(いずれも)：切手の博物館(豊島区)。

②中級編

ア. 会期：9月14日(土)[第35回]、参加者数：3名。

イ. 会期：10月12日(土)[第36回]、参加者数：9名。

ウ. 会期：12月14日(土)[第37回]、参加者数：8名、会場(いずれも)：切手の博物館(豊島区)

③特別編

ア. 会期：4月27日(土)[第30回]、会場：第37回<スタンプショウ2013>[東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者数：16名。

イ. 会期：8月17日(土)[第34回]、会場：切手の博物館(豊島区)、参加者数：12名。

(4) 郵趣図書の普及促進

郵便切手類の歴史及び郵便制度の研究に必要な図書を広く図書館に配備・リクエストすることにより、地域市民の誰でもが学習活動に平等な機会が得られることを実現し、教育と文化の普及・発展に寄与した。

①『ビジュアル世界切手国名事典 ヨーロッパ・アメリカ編』：105冊

②『切手画家・木村勝が遺した資料 戦後切手1946-1961』：33冊

(5) 「切手のつどい」

郵便切手文化に関する情報の発掘、収集を行うとともに、その結びつきを図り、国民の資源として共有・活用する基盤作りのため、誰でもが参加・交流できる「切手のつどい」を開催した。

①岡山切手のつどい2013

会期：6月23日(日)、会場：岡山国際交流センター(岡山県岡山市)、参加者数：48名、主催：中国・四国地方本部、岡山支部。

②筑後地方切手のつどい2013(第15回)

会期：7月28日(日)、会場：小郡市生涯学習センター・七夕ホール(福岡県小郡市)、参加者数：70名、主催：九州・沖縄地方本部、小郡支部、後援：日本郵便(株)小郡郵便局、日本郵便(株)小郡・三井部会。

③新潟県郵趣の集い2013in新潟(第19回)

会期：9月15日(日)、会場：新潟市中央公民館(新潟市)、参加者数：35名、主催：中部地方本部、新潟郵趣会。

④静岡県郵趣の集い2013in浜松

会期：9月28日(土)～9月29日(日)、会場：弁天島ホテル開春楼(静岡県浜松市)、参加者数：40名、主催：中部地方本部、浜松支部。

⑤くだまつ切手のつどい2013

会期：9月29日(日)、会場：ほしらんどくだまつ(山口県下松市)、参加者数：80名、主催：中国・四国地方本部、周南支部。

⑥広島切手のフリーマーケット(第11回)

会期：10月27日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者数：90名、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部。

⑦北九州切手のつどい2014

会期：2014年2月16日(日)、会場：AIMビル(北九州市)、参加者数：70名、主催：九州・沖縄地方本部、北九州支部、後援：日本郵便(株)北九州中央郵便局、(公財)西日本産業貿易コンベンション協会。

⑧広島切手のつどい2014

会期：2014年2月23日(日)、会場：KKRホテル広島(広島市)、参加者数：120名、主催：中国・四国地方本部、広島鯉城支部。

(6) 第31回全国郵趣大会in大阪

郵便切手文化に関する事業を広く社会一般に公開することを目的に、郵趣の普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者の顕彰、学術調査研究発表などの大会式典を開催した。また、全国各地における郵趣活動の結びつきを図り、郵趣に関する情報並びに課題を共有・活用するため、記念パーティを併せて実施した。

会期：9月21日(土)～9月22日(日)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者数：116名。
後援：日本郵便(株)近畿支社、大阪観光局、内容：記念式典、展覧会、作品解説、テーブルバザール(出店：9店9テーブル)、記念パーティ(参加者数：90名)。

(7) ホームページ及びソーシャルメディアの活用

インターネットによる情報公開の重要性に鑑み、最新の日本切手発行情報、展覧会、出版物及び演会・セミナーなどに関する情報をホームページにより随時掲載し、広く社会一般に公開、提供した。さらに、英文版ホームページを通して海外への情報発信にも努めた。また、公式フェイスブック「kitte」、公式ツイッター「kitte club」などソーシャルメディアを活用して多様な情報を発信し、多数の人々が参加する双方向的なコミュニケーションを図った。

ホームページ総セクション数：878,210件(前年度795,625件)、フェイスブック：いいね！642名(同212名)、ツイッター：ツイート5,994名(同5,400名)、フォロワー2,984名(同2,310名)。

2. 展覧会事業

郵便切手類及び郵便制度に関する研究を進展させるとともに、作品を鑑賞することにより豊かな情操を養い郵便切手文化に理解を深めるため、展覧会を開催した。郵便切手文化の独自性と希少性を確立することで、出品者及び参観者の高いモチベーションを維持し、文化シンポジウム・イベントなどを実施企画することによりPR効果を高め、集客の増加を図った。また、積極的に企業・団体との協働プロジェクトを推進していき、企画プログラムの充実、より多様なニーズに応えた。

(1) 全国規模の展覧会

①第37回<スタンプショウ2013>

世界各国の郵便切手類や郵便消印に関して楽しみながら知ることのできる展覧会として、企画展示「切手で見る世界遺産～日本の世界遺産20年～」、「世界のおもしろ切手大集合！」の開催、第2回フリースタイル・ワンフレーム展、第14回トピカル切手展の作品を公募した。また、(株)不二家と協働して、ペコちゃん記念小型印の押印サービス、ペコちゃんスタンプラリーなどの実施、広報の周知を図った。

会期：4月27日(土)～4月29日(祝・月)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者数：12,000名。後援：(公財)通信文化協会、協賛：日本郵便(株)、(株)不二家、(株)日本郵趣出版、(株)伊藤園、(株)鼓月、(株)彩流社、(特非)里山保全再生ネットワーク、(株)四万十ドラマ、無料世界切手カタログ・スタンプメディア(株)、協力：(株)郵趣サービス社、(一財)切手の博物館、ふくろう博士日本家庭教師センター学院、FRED BOATWRIGHT。

企画展示：「切手で見る世界遺産～日本の世界遺産20年～」5作品30フレーム、「世界のおもしろ切手大集合！」6作品14フレーム、第2回フリースタイル・ワンフレーム展：20作品(前年度23作品)、第14回トピカル切手展：39作品97フレーム(同28作品61フレーム)、海外郵政ブース：3カ国(ベルギー、スロバキア、国連)、切手商ブース：32店46ブース(同34店44ブース)。

②第48回全国切手展<JAPEX2013>

郵便切手類と郵便制度の研究成果を発表するコンクール形式の展覧会として、企画出品「田沢型切

手発行100周年記念「大正切手展」、「大統領シリーズ発行75年 アメリカ切手展」の開催、チャンピオン・クラス、伝統郵趣、郵便史、ステーションナリー、航空郵趣、テーマティック、ユース、文献、ワンフレーム、オープン、その他の全11クラスの競争作品を公募した。併せて、公式ガイドブック、コレクション集CD及び記念出版物を発行して、研究発表の成果を広く一般に公開した。会期：11月22日(金)～11月24日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、入場者数：4,600名、主催：(公財)日本郵趣協会、後援：アメリカ大使館、アメリカ郵政公社、(公財)通信文化協会、協賛：日本郵便(株)、(株)日本郵趣出版、(株)鼓月、(特非)里山保全再生ネットワーク、アーバン・ベンディックス・ネットワーク(株)、旭化成ホームズ(株)。

開催テーマ：「世界とつながる 知識が広がる」、企画出品：「田沢型切手発行100周年記念 大正切手展」11作品57フレーム、「大統領シリーズ発行75周年記念 アメリカ切手展」13作品46フレーム、競争出品：132作品380フレーム(前年度111作品353フレーム)、海外郵政ブース：3カ国(アメリカ、イギリス、チェコ)、切手商ブース：32店42ブース(同29店38.5ブース)。

③第63回<全日本切手展2013>

当協会の展示フレーム貸与、入場券の配布、開催告知など、同展の協力を努めた。

会期：4月16日(火)～4月21日(日)、会場：逓信総合博物館(千代田区)、主催：(公財)通信文化協会、日本郵趣連合、後援：(一財)切手文化博物館、日本郵便切手商協同組合。

(2) 地方本部主催の展覧会

①スタンプショウ高松2013(第4回)

会期：4月27日(土)～4月28日(日)、会場：香川国際交流会館(香川県高松市)、入場者数：130名、主催：中国・四国地方本部、高松支部。

②スタンプショウ=ヒロシマ2013(第30回)

会期：5月25日(土)～5月26日(日)、会場：広島県立産業会館(広島市)、入場者数：800名、切手商ブース：6ブース、主催：中国・四国地方本部、<スタンプショウ=ヒロシマ>組織委員会、後援：広島市、広島市教育委員会、日本郵便(株)中国支社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、中国新聞社。

③スタンプショウ周南2013

会期：6月8日(土)～6月9日(日)、会場：スターピアくだまつ(山口県下松市)、入場者数：250名、切手商ブース：2ブース、主催：中国・四国地方本部、周南支部、後援：日本郵便(株)中国支社、みなと山口合同新聞社。

④中部スタンプショウ2013 in松本(第12回)

会期：6月29日(土)～6月30日(日)、会場：中町蔵の会館(長野県松本市)、入場者数：500名、主催：中部地方本部、松本郵趣会、後援：松本市教育委員会、日本郵便(株)松本郵便局、市民タイムス・テレビ松本。

⑤大阪切手まつり2013(第15回)

会期：7月15日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、入場者数：500名、切手商ブース：9ブース、主催：関西地方本部、大阪切手まつり2013実行委員会、後援：日本郵便(株)近畿支社。

⑥彩PEX2013(第14回)&第19回川越ふれあい切手展

会期：9月14日(土)～9月23日(祝・月)、会場：アートギャラリー呼友館(埼玉県川越市)、入場者数：640名、主催：関東地方本部、川越支部、後援：日本郵便(株)川越郵便局、川越市教育委員会、埼玉新聞社、埼玉県郵趣連合。

⑦スタンプショウこうち2013(第18回切手のおまつり)

会期：10月5日(土)～10月6日(日)、会場：イオンモール高知「イオンホール」(高知市)、入場者数：1,000名、主催：中国・四国地方本部、スタンプショウこうち2013実行委員会、後援：日本郵便(株)高知中央郵便局、NHK高知放送局、高知新聞社、KUTV高知放送、KSSさんさんテレビ、RKC高知放送。企画イベント：切手で遊ぼう!楽しい親子の切手工作教室他。

⑧スタンプショウかごしま2013(第16回)

会期：10月5日(土)～10月6日(日)、会場：KKR鹿児島敬天閣(鹿児島市)、入場者数：205名、切手商ブース：4ブース、主催：九州・沖縄地方本部、鹿児島支部、後援：日本郵便(株)九州支社、南日本新聞社、NHK鹿児島放送局、MBC、KTS、KKB、KYT、鹿児島シティエフエム。
企画イベント：切手のつかみ取り、切手収集相談。

⑨大阪秋の切手展2013(第1回)

会期：10月12日(土)～10月13日(日)、会場：京セラドーム大阪「スカイホール」(大阪市)、入場者数：550名、外国郵政ブース：フィンランド、切手商ブース：6ブース、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、企画イベント：ムーミン切手展in大阪。

⑩スタンプショウはかた2013(第24回)&第31回全九州ジュニア切手展

会期：10月19日(土)～10月20日(日)、会場：ホテルコムズ福岡(福岡市)、入場者数：180名、主催：九州・沖縄地方本部、福岡支部、スタンプショウはかた2013実行委員会、後援：日本郵便(株)九州支社、福岡市教育委員会、NHK福岡放送局、RKB毎日放送、九州朝日放送、FBS福岡放送局、TVQ九州放送、テレビ西日本、読売新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社。

⑪スタンプショウふくやま2013(第34回)

会期：11月3日(日)～11月4日(祝・月)、会場：エム・シー福山ビル(広島県福山市)、入場者数：100名、切手商ブース：1ブース、主催：中国・四国地方本部、福山支部、後援：日本郵便(株)中国支社、中国新聞社、企画イベント：切手収集なんでも鑑定。

⑫関西スタンプショウ2014(第27回)

会期：2014年3月29日(土)～3月30日(日)、会場：大阪マーチャンダイズ・マートビル(大阪市)、入場者数：650名、切手商ブース：8ブース、主催：関西地方本部、後援：日本郵便(株)近畿支社、関西郵趣連盟。

(3) 展覧会への出品促進

競争作品を公募するコンクール形式の展覧会への出品を促進するため、出品公募前に出品物の添削・助言などを行い、審査結果発表後には出品者への助言の機会を設けた。

①「<JAPEX>ルールブック」(<JAPEX>一般規則、審査基準、Q&A)を作成発行し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

②「<JAPEX2013>特別規則」を作成発行し、出品希望者への配布及びホームページにおいて公開した。

③出品コンサルティングの実施

会期：6月29日(土)～6月30日(日)、会場：登録審査員による切手展2013 [切手の博物館(豊島区)]

会期：9月21日(土)～9月22日(日)、会場：第31回全国郵趣大会in大阪 [ホテルグランヴィア大阪(大阪市)]、参加者数：延べ20名。

④審査員と出品者との対話(ジュリー・アプレイザル)の実施

会期：11月24日(日)、会場：第48回全国切手展<JAPEX2013> [東京都立産業貿易センター台東館(台東区)]、参加者数：41名。

3. 出版事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報を社会一般に広く供するため、万国郵便連合(UPU)加盟約190の国と地域から発行されている郵便切手類に関する内容、意匠、データ並びに郵便制度に関する研究を基にして、各種出版物を発行した。

(1) 郵趣書籍及び研究報告書

- ①『切手画家・木村勝の遺した資料―戦後切手1946～1961―』(11月20日刊行)
- ②『第48回全国切手展<JAPEX2013>コレクション集CD』(12月25日刊行)
- ③<JAPEX2013>記念出版『田沢型切手発行100周年 大正切手』(2014年3月25日刊行)
- ④郵趣モノグラフ21『図解・世界の切手印刷』(5月25日刊行)

※一般財団法人印刷朝陽会の助成事業として実施。

(2) 定期刊行物

- ①切手を楽しむ雑誌『郵趣(YUSHU)』月刊/12回発行
- ②インターネット版『世界新切手ニュース』月刊/12回発行
- ③情報速報紙『郵趣ウィークリー』週刊/50回発行
- ④郵趣専門誌『郵趣研究 (The Philatelic Studies)』隔月刊/6回発行

(3) 切手カタログ

- ①『さくら日本切手カタログ2014』(4月20日刊行)
- ②『ビジュアル日本切手カタログ Vol.2 ふるさと・公園・沖縄切手編』(10月25日刊行)
- ③『新中国切手カタログ2014』(12月25日刊行)
- ④水原明窗没後20年記念『旧中国切手カタログ』(2014年3月25日刊行)
- ⑤『ビジュアル日本切手カタログ Vol.3 年賀・グリーティング編』(刊行準備作業)

4. 学術調査研究事業

郵便切手類及び郵便制度に関する情報(データベース)などを基に学術調査研究を行い、その研究成果を広く社会一般に還元するため、文化シンポジウム、研究発表会を開催し、知的情報の公開・周知を図った。

(1) 部会・例会

専門分野の学術調査研究組織の部会、地域規模の組織として研究情報交換を行う例会の計23グループが、延べ218回の研究発表会を開催した。参加者数：延べ1,545名。

(2) 文化シンポジウム

講演会、パネルディスカッション、セミナーなどの形式により文化シンポジウムを開催し、知見の交換を図るとともに多くの人々が参加できる機会を創出した。

①講演会「切手が伝える化学の世界」

会期：4月27日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、講師：齊藤正巳氏、聴講者数：40名。

②講演会「マリ近現代史」

会期：4月27日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、講師：内藤陽介氏、聴講者数：45名。

③講演会「わたくしの収集遍歴 外信用はがき収集60年」

会期：4月27日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、講師：天野安治氏、聴講者数：40名。

④講演会「ビジュアル世界切手国名事典 ヨーロッパ・アメリカ編」

会期：4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、講師：板橋祐己氏、聴講者数：55名。

⑤講演会「ビジュアル世界切手国名事典 ヨーロッパ・アメリカ編」

会期：9月21日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、講師：板橋祐己氏、聴講者数：80名。

⑥ミニセミナー「アメリカの普通切手～5¢ Red Errorの話題～」

会期：9月21日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、講師：戸上拓也氏、聴講者数：20名。

⑦ミニセミナー「カバーの楽しみ」

会期：9月21日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、講師：山本勉氏、聴講者数：20名。

⑧ミニセミナー「バラのきた道～その生い立ちと人々とのかかわり～」

会期：9月21日(土)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、講師：山田精一氏、聴講者数：20名。

⑨講演会「私の“切手愛+キノコ愛”」

会期：11月22日(金)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、講師：石川博己氏、聴講者数：30名。

⑩トークショー「YOUは何しに切手の現場へ？」

会期：11月23日(土・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、ゲスト：田中敏彦氏、聴講者数：30名。

⑪講演会「南方占領地のステーションナリー」

会期：11月23日(土・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、講師：土屋理義氏、聴講者数：30名。

⑫トークショー「切手画家・木村勝の遺した資料―戦後切手1946～1961―」

会期：11月23日(土・祝)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、ゲスト：大久保幸夫氏、横山裕三氏、聴講者数：30名。

(3) 専門分野の活動事例紹介

誰でもが参加できるブース形式またはディスカッション形式により、全国規模の展覧会において各専門分野の研究活動事例を紹介した。

①4月27日(土)～4月29日(月・祝)、東京都立産業貿易センター台東館(台東区)で開催した、第37回「スタンプショウ2013」会場において、計14の部会及び例会組織がブース形式またはディスカッション形式により、日常の専門分野の活動事例を紹介した。

②11月22日(金)～11月24日(日)、東京都立産業貿易センター・台東館(台東区)で開催した、第48回「全国切手展<JAPEX2013>」会場において、計16の部会及び例会組織がブース形式またはディスカッション形式により、日常の専門分野の活動事例を紹介した。

(4) 専門分野の研究発表会

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において各専門分野の学術調査研究成果を「ミニペックス」と称して広く一般に発表・公開した。

①2013イギリス切手部会切手展

会期：4月20日(土)～4月21日(日)、入場者数：290名、研究発表：イギリス切手部会。

②絵画切手部会展2013

会期：5月10日(金)～5月12日(日)、入場者数：240名、研究発表：絵画切手部会。

③第4回世界の植物切手展

会期：5月31日(金)～6月2日(日)、入場者数：320名、研究発表：植物切手部会。

④第28回昆虫切手展

会期：6月7日(金)～6月9日(日)、入場者数：260名、研究発表：昆虫切手部会。

⑤現行切手展

会期：6月14日(金)～6月16日(日)、入場者数：260名、研究発表：現行切手例会。

⑥登録審査員による切手展2013

会期：6月29日(土)～6月30日(日)、入場者数：160名、研究発表：エキスパート委員会。

⑦アメリカ切手展2013<america'13>

会期：7月10日(水)～7月14日(日)、入場者数：250名、研究発表：アメリカ切手部会。

⑧G.ヴェルディ、R.ワグナー生誕200年記念 音楽切手展

会期：10月19日(土)～10月20日(日)、入場者数：270名、研究発表：音楽切手部会。

⑨関東郵趣サロン 楽しい切手展

会期：10月25日(金)～10月26日(土)、入場者数：160名、研究発表：関東郵趣サロン。

⑩女性宇宙飛行士誕生50年記念 2013宇宙切手部会展

会期：11月8日(金)～11月10日(日)、入場者数：230名、研究発表：宇宙切手部会。

⑪第9回中国郵趣展

会期：2014年1月25日(土)～1月26日(日)、入場者数：210名、研究発表：福井和雄理事長。

⑫パソコン郵趣部会展2014

会期：2014年2月21日(金)～2月23日(日)、入場者数：290名、研究発表：パソコン郵趣部会。

⑬第6回聴覚障害者切手クラブ切手展

会期：2014年3月14日(金)～3月16日(日)、入場者数：270名、研究発表：聴覚障害者切手クラブ。

⑭第16回ドイツ切手展<Germania2014>

会期：2014年3月22日(土)～3月23日(日)、入場者数：240名、研究発表：ドイツ切手部会。

(5) 専門分野の研究発表会への助成

展覧会形式により、切手の博物館(豊島区)において開催される各専門分野の学術調査研究成果の発表・公開に対して、次の助成を行った。

①第11回天野安治・魚木五夫郵趣展

会期：5月24日(金)～5月25日(土)、入場者数：100名、研究発表：天野安治氏、魚木五夫氏。

②第10回震災切手と震災郵趣展

会期：9月27日(金)～9月29日(日)、入場者数：160名、研究発表：震災切手研究会。

③方寸展2013

会期：11月15日(金)～11月17日(日)、260名、研究発表：方寸会。

④第5回テーマティック出品者の会切手展

会期：2014年1月17日(金)～1月19日(日)、270名、研究発表：テーマティック出品者の会。

⑤第5回世界の郵趣展

会期：2014年3月7日(金)～3月9日(日)、180名、研究発表：クラシックフィラテリー研究会。

(6) 定期刊行物における研究発表

『郵趣(YUSHU)』及び『郵趣研究(The Philatelic Studies)』誌上において、学術調査の研究事例を掲載した。

①『郵趣(YUSHU)』

『郵趣』において、「日本切手の凹版彫刻者たち」「米国の小包切手」「田沢型切手 大正白紙～昭和
白紙」など多数の研究報告を公開した。

②『郵趣研究 (The Philatelic Studies)』

『郵趣研究』において、「英国の切手印刷方式の変遷」「戦後の『和文櫛型印と同機械印』 調査結
果報告」「日本切手のジャワ使用実通便」など多数の研究報告を公開した。

(7) 郵趣資料の収集・公開

郵便切手文化に関する貴重な研究資料が拡散しないように幅広く収集・整理し、それを保存・公開す
ることにより、社会一般の共有財産として次世代に継承することに努めた。

5. 国際文化交流事業

日本と海外諸国・地域との文化活動の交流を図り、友好関係と相互理解を増進するため、自国の歴
史・文化を伝える「小さな外交官」と形容される郵便切手類を通して、国際文化交流を実施した。

(1) 国際切手展における国際文化交流

①国際切手展<AUSTRALIA2013> (オーストラリア・メルボルン) への出品

5月10日(金)～5月15日(水)、ロイヤル・エキシビション・ビルディング(オーストラリア・メル
ボルン)で開催された国際切手展<AUSTRALIA2013>に2文献を出品した。「軍事郵便」は金銀賞、
「手彫切手1871-1876」は金銀賞を受賞した。

②国際切手展<THAILAND2013> (タイ・バンコク) への出品

8月2日(金)～8月8日(木)、サイアムパラゴン・ホール(タイ・バンコク)で開催された国際切手展
<THAILAND2013>に2文献を出品した。「手彫切手1871-1876」は金銀賞、「日本切手専門カタログ
戦前編・戦後編」は金銀賞を受賞した。

③国際切手展<BRASILIANA2013> (ブラジル・リオデジャネイロ) への出品

11月19日(火)～11月25日(月)、ビア・マウア(ブラジル・リオデジャネイロ)で開催された国際切手
展<BRASILIANA2013>に2文献を出品した。「ビジュアル日本切手カタログ 記念切手編
1894-2000」は大銀賞、「切手画家・木村が遺した資料 戦後切手1946-1961」は金銀賞を受賞した。

(2) 各国郵政機関及び海外郵政組織との協働による国際文化交流

①国際切手展<THAILAND2013>へのブース出展

会期：8月2日(金)～8月8日(木)、会場：サイアムパラゴン・ホール(タイ・バンコク)、日本の郵
便切手文化紹介及び対日理解促進のためにブース出展し、記念押印サービスなどを実施した。

②ムーミン切手展in仙台

会期：7月14日(日)、会場：仙台市七北田公園緑化ホール(仙台市)、東日本大震災被災者支援の
一環として開催された「フィンランド・フェスティバル」(主催：仙台市)に参画した。フィンラン
ドと日本の友好を深めるために、フィンランド郵政との共催により「ムーミン切手展in仙台」を開
催するとともに、作品解説を実施した。

③ムーミン切手展in大阪

会期：10月13日(日)、会場：京セラドーム大阪スカイホール(大阪市)、秋の大阪切手まつり2013
の特別企画として、フィンランドと日本の友好を深めるために、フィンランド郵政との共催によ
り「ムーミン切手展in大阪」を開催するとともに、作品解説を実施した。

④大統領シリーズ発行75周年記念 アメリカ切手展

会期：11月22日(金)～11月24日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)、第48

回全国切手展<JAPEX2013>の企画出品として、アメリカと日本の友好を深めるために、アメリカ大使館、アメリカ郵政公社の後援により「大統領シリーズ発行75周年記念 アメリカ切手展」を開催するとともに、作品解説を実施した。

6. 流通促進事業

文化的及び歴史的資料として貴重な国民的財産である郵便切手類を拡散・劣化させることなく、次世代へ着実に継承するため、流通促進事業を実施した。

(1) 公開入札制度<JPSオークション>

- ①第486回 開催日：4月28日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)
- ②第487回 開催日：7月6日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- ③第488回 開催日：9月7日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- ④第489回 開催日：11月23日(土)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)
- ⑤第490回 開催日：2014年1月11日(土)、会場：切手の博物館(豊島区)
- ⑥第491回 締切日：2014年3月10日(月)、メールオークション

出品総数：8,124ロット、落札総高：79,748千円(前年度86,433千円)。

(2) 流通促進の基盤整備

郵便切手類の偽造品・変造品の不正流通を防止し、郵便事業に対する信認を確保するため、偽造品・変造品に関する情報をデータベースとして蓄積するとともに、文化の保全と健全なる市場の形成を図った。

7. 顕彰事業

日本及び世界各国の郵便切手類及び郵便制度に関して、その普及啓発並びに調査研究に貢献した功労者(個人及び団体)を顕彰し、郵便切手文化の振興と水準高度化を図った。

(1) 選考委員会

各授賞要項に基づき各選考委員会を設置するとともに、選考基準に基づき授賞者を選考した。

①第34回中島健蔵・水原明窗記念賞

中島健蔵・水原明窗記念賞選考委員会(委員長:福井和雄、委員:稲葉良一、魚木五夫、落合宙一、桑野博、下邑政弥、高野昇郎、松本純一)を設置し、受賞者に大沼幸雄氏を決定した。

②国際大賞(トレーシー・ウッドワード記念賞)

顕彰選考委員会(委員長:福井和雄、委員:浅見啓明、落合宙一、後藤茂、玉木淳一)を設置し、「該当者なし」と決定した。

③第33回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)

同上の顕彰選考委員会を設置し、次のように決定した。

ア. 個人部門:伊藤純英、金川博史、長谷川尚士、渡邊健の各氏

イ. 団体部門:切手研究会、仙台支部

④第33回郵趣文献賞

同上の顕彰選考委員会を設置し、受賞文献に「イギリス郵便史文献散策」(星名定雄著)を決定した。

⑤第30回小倉謙賞

第48回全国切手展<JAPEX2013>審査員会の審査員で選考委員会(委員長:竹上幸浩)を設置し、受賞者に北村定徒氏「ヒトラーとナチス・ドイツの興亡」を決定した。

⑥第28回住野正顕賞

第48回全国切手展<JAPEX2013>審査員会の審査員で選考委員会(委員長:竹上幸浩)を設置し、受

賞者に板橋祐己氏「エストニア スカイライン図案切手1920-1924」を決定した。

(2) 授賞式

功労者の表彰は授賞式をもって行うとともに、選考委員及び選考結果は『郵趣』並びにホームページにおいて公開した。

①第34回中島健蔵・水原明窗記念賞

2014年3月29日(土)、切手の博物館(豊島区)において、授賞式及び記念講演会「テーマティクの手法」を公開で実施した。聴講者数：60名。

②第33回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)、第33回郵趣文献賞

9月21日(土)、第31回全国郵趣大会in大阪において受賞者を発表するとともに、第33回郵趣活動賞(個人部門、団体部門)及び第33回郵趣文献賞の授賞式を公開で実施した。

③第30回小倉謙賞及び第28回住野正顕賞

11月24日(日)、第48回全国切手展<JAPEX2013>において受賞者を発表するとともに、第30回小倉謙賞及び第28回住野正顕賞の授賞式を公開で実施した。

8. 社会貢献・地域支援事業

郵便切手文化の発展向上に資するとともに潤いのある社会形成を推進するため、パートナー企業・団体との協働により広く社会一般に貢献する事業を行った。また、地域市民が行う郵便切手文化の公益的活動への助成や情報・ネットワーク支援を図るとともに、文化活動を担うボランティアの醸成と創造性豊かな人材育成に取り組んだ。

(1) 「手紙を書こう！プロジェクト2013」

あらゆる世代において郵便切手文化に触れあう機会を創出し、手紙コミュニケーションの楽しさを体験してもらうとともに、生き生きとした心豊かな社会の実現を目指していくため、日本郵便(株)、リソー教育グループとの協賛事業として実施した。

①体験ワークショップ「手紙を書いてみよう」

ア. 会期：4月27日(土)～4月29日(祝・月)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

イ. 会期：8月21日(水)～8月25日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)

詳細は、普及啓発事業(2)を参照。

②未来への手紙(タイムカプセル郵便)

募集期間：4月1日(月)～2014年3月31日(月)、協力：切手の博物館、通信博物館、申込通数：136通(前年度148通)。

③愛の手紙(セント・ヴァレンタイン・リターンメール)

募集期間：4月1日(月)～2014年3月31日(月)、協力：フランス郵政、セント・ヴァレンタイン郵便局、切手の博物館、通信博物館、申込通数：109通(同185通)。

④オリジナルの記念品を作ろう

ア. 会期：4月27日(土)～4月29日(祝・月)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

イ. 会期：8月21日(水)～8月25日(日)、会場：切手の博物館(豊島区)

会期：11月22日(金)～11月24日(日)、会場：東京都立産業貿易センター台東館(台東区)

(2) パートナー企業・団体との協働プロジェクト

企業・団体と当協会が互いの特性や持てる資源を活かし合い、その取り組む課題やプロセスを共有し、その取り組む課題やプロセスを共有し、協働して郵便切手文化に関する新たなニーズに応えた。

①PFC(青少年ペンフレンドクラブ)との周知連携

②手紙教室、切手教室等の連携

(3) 登録支部・団体との協働

登録支部・団体数：101、合併：1(横浜第一支部と横浜港北支部とが合併して横浜支部)、登録取り消し：2(札幌第一支部、五條支部)

①地域活動の活性化への支援及び企画プログラムの提供

『郵趣(YUSHU)』及びと協会ホームページにおいて各地域のイベント情報を紹介するとともに、企画プログラムの提供、講師の紹介などの支援を行った。

②切手教室の協働開催及び「ジュニア育成指導者マニュアル」の配布

登録支部・団体が開催した延べ3回の切手教室に助成を行い、「ジュニア育成指導者マニュアル」の配布を行った。

③地域が取り組む展覧会への助成

登録支部・団体が開催した延べ32回の展覧会に助成を行った。

(4) 公益活動への支援

①(公財)通信文化協会主催の「第5回てづくりレターコンクール」(募集期間:8月1日～10月6日)を協賛し、特別賞を授与するとともにコンクール審査に審査員を派遣した。

②(一財)切手の博物館主催の「切手バザール」(会期:4月6日～4月7日、5月18日～5月19日、7月6日～7月7日、8月31日～9月1日、10月5日～10月6日、11月2日～11月3日、2014年1月11日～1月12日、3月1日～3月2日、述べ8回)の開催を支援した。

③目白ロードレース実行委員会主催の「第17回目白ロードレース」(会期:2014年3月2日)の開催に協賛した。

(5) ボランティアの募集

郵便切手文化に関する理解と関心を高めるとともにボランティア活動への市民参加の促進を図るため、体験・情報提供を行い、支え合いの輪を広げる仕組み作りを推進した。

当協会の公式ホームページをはじめ、ボランティア募集を掲載するWEBサイト6社に登録し、第37回<スタンプショウ2013>に一般ボランティア18名、第48回全国切手展<JAPEX2013>に一般ボランティア19名の応募があり、延べ66名が展覧会にボランティアとして参加した。

9. 公益事業資金の造成

郵便切手文化の向上発展に資するとともに未来に継承する公益事業資金造成のため、協力していただける企業・団体の募集、多くの方々に気軽にご支援いただけるよう、さまざまな形で寄付を募った。この益金は広く社会一般に還元する事業のために充当した。

(1) サポート・パートナー企業・団体の募集

第37回<スタンプショウ2013>に対して15企業・団体、第48回全国切手展<JAPEX2013>に対して8企業・団体、「ゆうびんde自由研究・作品コンテスト2013」に対して8企業・団体、「手紙を書こう！プロジェクト2013」に対して6企業・団体から協賛、協力の支援を得た。

(2) 使用済み切手&書き損じはがきの募集

募集期間：4月1日(月)～2014年3月31日(月)、協賛者数：815件(前年度132件)。

(3) 財政安定化寄附金(一般寄附金)

募集期間：4月1日(月)～2014年3月31日(月)、1口2,000円、協賛者数：9件、合計：23口、46,600円(前年度44口、87,730円)。

(4) <スタンプショウ2013>寄附金(特別寄附金)

募集期間：1月5日(土)～4月29日(月・祝)、特別寄附金：9口(1口3万円)、一般寄附金：311口(1口4,000円)、協賛者数：281件、合計：320口、1,514千円。

(5) <JAPEX2013>寄附金 (特別寄附金)

募集期間：7月1日(月)～11月24日(日)、特別寄附金：33口(1口3万円)、一般寄附金：695口(1口4,000円)、協賛者数：644件、合計：728口、3,853千円。

Ⅱ 管理部門

1. 会員事業

情報提供サービスの充実と会員のサポートが図れるような施策を実施し、そのメリットを高めていくことにより、会員の維持・拡大を図った。

(1) 会員情報管理システムの整備

会員情報を組織的に適正に管理してデータの円滑な利活用を行うため、会員情報管理システムを整備するとともに、事務の簡素化・効率化及び情報提供サービスの高度化を推進した。

(2) 会員の維持・拡大

①ホームページ、切手カタログ、全国規模の展覧会などにおいて、「お試し入会キャンペーン」を実施した。お試し入会者数：238名、入会者数：13名。

②移籍のお願いキャンペーン（普通会員から正会員、維持会員へ、正会員から維持会員への移籍）、維持促進及び再入会ダイレクトメール、会費自動引き落としの利用拡大の呼びかけを実施した。普通会員から正会員への移籍者数：8名、普通会員から維持会員への移籍者数：2名、正会員から維持会員への移籍者数：4名。

③「正会員会報」月刊／12回発行

④「郵趣手帳(Philatelic Diary)2014-2015」を作成し、維持会員及び正会員に配布した。

2. 交流事業

心豊かな潤いのある社会創造の理念に基づき、会員相互の交流と親睦を深めるとともに、郵便切手文化を国民の資源として共有・活用できる基盤作りを図った。

(1) 新春交歓会

①関西・新春交歓会

会期：2014年1月5日(日)、会場：ホテルグランヴィア大阪(大阪市)、参加者数：41名。

②東京・新春交歓会

会期：2014年1月11日(土)、会場：ホテルグランドパレス「カトレア」(千代田区)、参加者数：62名。

(2) 会員交流会

①東北郵趣大会2013in鶴岡(第23回)

会期：6月8日(土)～6月9日(日)、会場：湯野浜温泉「海麓園」(山形県鶴岡市)、参加者数：65名、主催：北海道・東北地方本部

②関東郵趣大会2013in鬼怒川(第29回)

会期：6月30日(土)～7月1日(日)、会場：鬼怒川温泉「鬼怒川観光ホテル」(栃木県日光市)、参加者数：60名、主催：関東地方本部

③関西地区会員交流会(第15回)

会期：7月15日(月・祝)、会場：味覚糖UHA館(大阪市)、参加者数：50名、主催：関西地方本部

④北海道郵趣大会2013in釧路(第23回)

会期：10月12日(土)～10月13日(日)、会場：釧路キャッスルホテル(釧路市)、参加者数：57名、主催：北海道・東北地方本部

(3) コミュニティ通貨「フィラ」

発行数：21,108枚、流通数：1,011枚、流通率：4.8%。